

農作業を省力化

ドローンで玉ねぎの薬剤を散布

5月25日(金)

ドローンで、生産組合などの玉ねぎ圃場にべと病予防薬を散布しました。3月下旬と4月下旬に続き、この日が3回目。

大津南宮農経済センターの田中センター長は、「今後、キャベツなど様々な野菜にドローンを活用して作業の省力化を図ることで、大規模面積での作付けを広めていきたい」と話しています。

玉ねぎは6月下旬に収穫し、7月から大津市の学校給食に納品となります。



JA 自己改革の一つ「農家組合員の所得増大・農業生産の拡大」実現に向け導入したドローンで、玉ねぎのべと病予防薬を散布。